

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 中部学院大学
2. 日 時 令和2年12月2日(水) 16時30分~18時00分
3. 場 所 市役所本庁舎3階 特別会議室
4. 出席者 <参加団体>6名 <市>市長
5. テーマ ①小中高一貫の特別支援学校建設に伴うインクルーシブ教育について
②カカミガハラ パーク ブリッジのオープンに伴って
③学びの森の活用について

テーマ①：小中高一貫の特別支援学校建設に伴うインクルーシブ教育について

【参加者】インクルーシブ教育は私のイメージだと、健常者と障がいのある子が一緒に授業を受ける感じですが、新しい学校に移るとなると健常者との交流がどうなるのかということと、新しい環境に慣れない子がパニックにならないかということが心配です。

【市長】インクルーシブ教育では障がいの有無にかかわらず可能な限り同じ場で共に学ぶこと、そして、支援を必要とする児童生徒が将来の自立や社会参加に向けて、一人ひとりに合った指導を提供できる仕組みを整備することが重要となってきます。現在、岐阜県においては、児童生徒の可能性を最大限に伸ばすということから、個々の教育的ニーズに合った学びの場として、「通常の学級」、「通級による指導教室」、「特別支援学級」、「特別支援学校」でインクルーシブ学級が行われています。

特別支援学校という学びの場の一つである各務原特別支援学校は、知的障がいのある高等部の生徒を対象とした学校で、小中学校の年齢で特別支援学校での学びを求める児童生徒は、羽島や関といった市外の特別支援学校にバスや親の送迎で通っています。したがって、小中高一貫の特別支援学校を設立することは、市内児童生徒に「12年間の連続した学び」の場を「市内で提供」することができ、また、特別支援学校と小中学校等が近隣にあることにより学校間の交流及び共同学習の連携も図りやすくなりますので、特別支援学校の設立は、インクルーシブ教育のさらなる充実につながると考えています。

次に、環境の変化でパニックにならないかとのご質問ですが、たしかに急な環境の変化が苦手な児童生徒はいると考えられますので、事前に見学や体験をしていただいたり、保護者と連携して個に応じたきめ細やかな指導支援等を行ったりすることで、スムーズに新しい学校での生活に慣れていただけるように努めてまいります。また、転校元の特別支援学校からも児童生徒の状況を把握する教員を配置していただくよう働きかけてまいります。

【参加者】「各務原市特別支援学校整備基本構想・基本計画」の第4章「基本理念・基本方針」の「2.基本方針」として「特別支援学校と小中学校の児童生徒同士が日常的に関わり合い、地域とのつながりを深め、相互理解を深める開かれた学校を整備する」とありますが、具体的に何を行うか教えてほしいです。

【市長】特別支援学校と小中学校の児童生徒同士の日常的な関わり合いについては、学習指導要領に示されている「交流及び共同学習」というものを組織的・計画的に行っていくことになっています。「交流及び共同学習」では、障がいのある子と障がいのない子の相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的として、学校行事やクラブ活動、自然体験、ボランティア等を合同で行う交流や、文通や情

報通信のネットワークを活用してコミュニケーションを深める交流をしていきたいと思っています。

もう一つには、地域とつながりを深める活動も大事ですので、行事の公開、作品展、バザーやカフェ等の開催など学習成果を発表する交流、企業やサークル等の団体の方々の得意な分野を体験し学ぶ交流、公園清掃や花壇整備など地域の方と一緒に活動する交流が考えられます。

【参加者】建設予定地が市の端の方なので、できれば真ん中の方がいいと思うのですが。

【市長】建設予定地は、特別支援学校を整備した後の児童生徒の交流活動のしやすさを踏まえ、既存の小中学校の近くに整備したいと考えました。そして、中央小中学校付近、鶴沼中学校付近、鶴沼第一小学校付近、稲羽中学校付近の4か所を候補にあげて、大学教授、保護者代表、特別支援教育に深くかかわっている教員などの専門家からなる策定委員会で選定していただきました。具体的には、通学路の安全性、公共交通機関の有無、防災上の危険性、土地の確保のしやすさなどを指標に設定して比較検討し、最終的に鶴沼中学校の南の農地が最も望ましい候補地であると決定しました。

【参加者】今の「各務原特別支援学校」の校舎はどのように活用されるのですか。

【市長】現時点では今後の活用については決定していませんが、取り壊すのではなく、何か別の用途で有効活用できるよう、検討していきたいと思います。

テーマ②：カカミガハラ パーク ブリッジのオープンに伴って

【参加者】どのような施設を考えているのですか。

【市長】学びの森と市民公園、両方の公園をつなぐ役割を果たしてもらいます。施設の特徴としましては、「岐阜県産木材を使った全天候型屋内施設」と「公園を楽しむためのグッズや遊具をシェアする仕組み」です。また、公園で使える遊具を貸し出すことによって、エリア全体で賑わいが生まれることを期待しています。

また、施設内には飲食店が1店舗、施設利用者以外も利用できるテイクアウト専用の店が2店舗となり、今、お店を選定中です。

「カカミガハラ パーク ブリッジ」は令和3年3月に完成する予定ですので、ぜひご利用ください。

【参加者】駐車場のあった場所に施設を作ることで、駐車場が足りなくなることはないですか。

【市長】駐車場は今のところ足りていると考えておりますが、駐車場が足りなくならないように、公共交通機関を使って公園に来ていただくパークアンドライド方式にも取り組んでいます。

【参加者】遊具をシェアするということですが、コロナを気にする人もいないのですか。

【市長】民間の会社が施設の管理運営をするのですが、その辺の衛生管理をしっかりするように指導していきたいと思います。

【参加者】テイクアウトの店ができるそうですが、市民公園や学びの森にポイ捨てが増えないようにゴミ箱も設置してほしいです。

【市長】テイクアウトのゴミは店舗側で引き取ってもらいます。

学びの森を中心に開催している「マーケット日和」は一日で3～4万人来場者がありますが、実はほ

とんどゴミが落ちていません。また、市民公園で開催される「桜まつり」でもゴミが少なく、来場者のマナーの良さを感じています。

したがって、今のところゴミ箱の設置はしないで、来ていただいた方の意識にお任せしたいと思います。

【参加者】施設利用者の中には小さいお子さんを連れた方もいると思うので、トイレ内にオムツ替え台や授乳室を作ったりするといいと思います。

【市長】もちろん施設内にオムツ替え台と授乳室を作ってもらいます。トイレ内かどうかはまだ決まっていますが、必ず設置すると報告を受けていますので安心してください。

【参加者】施設は高齢者や障がいのある方に配慮して、バリアフリーになっているのでしょうか。

【市長】今の建物は大体バリアフリーになっていて、当然この施設も高齢者や障がいのある方に配慮してバリアフリーになっていますので、安心していただければと思います。

【参加者】中部学院の親子で遊べる室内施設「ラ・ルーラ」では木のおもちゃが珍しいからお子さんを連れてこられる方も多いので、自然のおもちゃを増やすといいと思います。

【市長】たしかに自然のものはいいので、増やすようにしたいと思います。

テーマ③：学びの森の活用について

【参加者】犬を連れている方が多いので、ドッグランを作って活用できればいいのではないかと思います。

【参加者】芝生が多く、ひらけていて自由に遊べますが、小さい子は遊具があればさらに遊びやすいと思います。

【市長】

学びの森は、岐阜大学の農学部時代にたくさん木が生えていて、その樹形や地形を生かし、芝生広場や散策路、池など景観を重視した緑豊かな自然の中で、来た人が安心して自由にのびのびと遊んでいただけ、くつろぐことがしっかりできる、景観を重視した公園をコンセプトとして整備していますので、今のところ遊具とかドッグランを作る予定はありません。

すぐ近くには別のコンセプトの市民公園があって、その市民公園には遊具があります。今後、市民公園の方もリニューアルするので、地域の方の意見も反映して、遊具の方もリニューアルしていきます。

【参加者】真ん中に大きい池がありますが、あまりきれいな水ではない気がします。どうせならお子さんが遊べる池ならいいと思いました。

【市長】学びの森の中央部には、「さざなみ」という名前の池があります。水底に景観上、玉石を敷き詰めていますので遊ぶには不安定という状況ですが、池の隣には、30分おきにミストが噴き出す「霧の泉」があって、服を着たまま遊ぶことができます。また、市民公園の「遊びの街角」には、小さい子が遊べる「じゃぶじゃぶ池」があり、この池もリニューアルしますので、ぜひ利用していただきたいと思います。

【参加者】雨が降ったりすると、水はけが悪く、靴が濡れてびしょびしょになる人が多く、登下校の支障になることがありました。

【市長】学びの森は整備されて15年くらい経っていて、いたる所がへこんだり、タイルが割れたりしているため、市の職員が見て回り、修繕していますので、その都度、連絡していただければ、職員が確認して対応します。

【参加者】夜真っ暗なので、街灯をもう少し増やすといいと思いました。

【市長】学びの森の照明は、防犯上はもちろんですが、景観や近隣住宅への影響、夜間利用の状況など考慮して配置を決めています。今後、学びの森の使い方や皆様の意見をお聞きしながら、照明の再配置については、慎重に検討してまいります。

また、園内には樹木が多いため、照明灯に覆いかぶさっている枝を剪定するなど、照度の確保に努めていきたいと思います。

【参加者】カフェを大きくするともう少し地域との交流ができるのではと思いました。

【市長】今のカフェは、お客さんが店内で飲食して楽しむというより、店内で買っていただいた後に、公園でどう楽しむかを考えている団体さんに請け負っていただいております。今のところ店舗を拡大する予定はありません。

【参加者】ポケモン GO をよくやるのですが、ご高齢の方も歩き回ってやっているのので、ポケストップ周辺にもう少し座って休憩することができるスペースがあってもいいのではと思いました。

【市長】公園は、楽しみ方が人それぞれです。色々な方に公園を楽しんでいただきたいと考えていますので、今のところ、ポケストップ周辺にベンチなどの座る場所を設置することは考えていません。

【参加者】かもす食堂をみんながインスタで投稿したりしていて、そういう所があっていいなと思うのですが、知らない人もいると思うのでもっと知らせるといいと思います。学びの森を憩いの場とするのか、もう少し人が集まって、活気のある場所となるのを目指しているのか教えてもらえれば私たちも周知しやすいです。

【市長】学びの森内の喫茶店は目新しいもの、かもす食堂は和を重視したコンセプトですが、ともに考えているのは自然を有効活用しようということです。そして、ゆっくりと過ごす憩いの場、活気のある場両方を目指し、落ち着いた雰囲気を残したまま、景観にマッチした賑わいを創出したいと考えています。